

びかいのトラ

【特集】市民インタビュー
**次世代に残したい自然
守る活動が生きがいに！
稲荷緑地の会**

P2

- 平成 30 年度決算審査 P4
- 審議した主な議案
 - 市長提出議案 P10
 - 議員提出議案 P11
 - 議決結果一覧 P12
- 市政について問う
 - 《一般質問》 P14
- 議会活動報告 P23

No.127

令和元年（2019 年）
11 月 1 日発行
（通巻 236 号）

次

世代に残したい自然

守る活動が生きがいに！

稲荷緑地の会

稲荷緑地は羽村第一中学校から羽村東小学校までの斜面で、青梅から調布に連なる多摩川河岸段丘の一部。貴重な緑として市民ボランティアの手で整備・保存されています。

崖線の緑地は、貴重な景観

吉澤 則明さん・会長（76）



稲荷緑地は、多摩川沿いに残る崖線の宅地開発を防ぎ、緑地保全の目的で東京都が取得しています。羽村市が許可を得て市民ボランティアの手で樹木の伐採や、下草刈りなどを始めたもので「稲荷緑地の会」が発足して12年になります。以前は昼でも薄暗く、ごみ捨て場のようなでした。

大崎 玄さん（76）



古代からの多摩川が、水木公園の五ノ神崖線、市役所付近の小作

崖線、この羽村崖線と削り取ってきた。環境関係の審議会にも関わり、自然に触れられる貴重な景観を守りたくて、整備をしています。

小嶋 はるかさん（73）



市の事業に関心を持ち、「環境まちづくりの会・自

然部会」でこの活動に参加しました。住まい近くの「水木公園」の整備を考えるうえでも役立っています。

普段は甘いものなど、差し入れ担当です。

住吉 貞文さん（77）



羽村に住んで40年。鹿児島で、崖線の緑を守りたい。

かつての水場「弁天の泉」が残るが、枯れていて、稲荷緑地の乾燥が心配です。

浸透ますの補助金などもっとPRすると思います。

杉本 晋吾さん（71）



10年ほど前、国際電気の地元貢献としてボランティア参加して以来、

退職後も続けています。技術屋だったので伐採など初めての体験。慣れた今は瑞穂町の自宅周辺の美化に役立っている。作業翌日は体中痛みますが、緑地への愛着は強いので続けています。

卯西 邦雄さん（78）



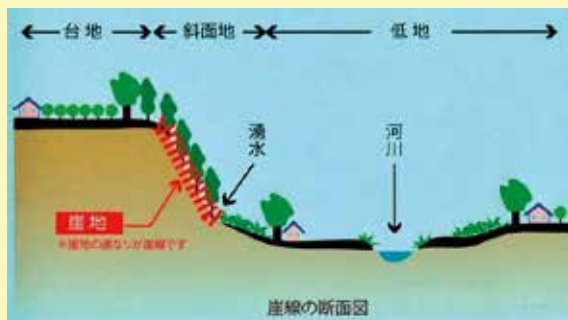
都の鳥獣保護管理委員も務めており、「はむらの野鳥ガイド」図鑑制作に参加しました。稲荷緑地

市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支えている方が大勢います。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思っています。今回は経済委員会が担当しました。

【表紙の写真】
稲荷緑地の会の皆さんと
ボランティアの方々
(令和元年9月13日撮影)

には市の鳥であるアオバズクをはじめ、45種の野鳥が確認できました。巣箱も10か所に設置し、アラ

イグマやハクビシンの動態調査で東京都が無人カメラを設置しました。



▲多摩川崖線は自然の地形を残し、動植物に触れられる、貴重な緑地



▲羽村駅に向かう生活道路として利用されている

稲荷緑地の会

- 目的** 稲荷緑地の整備・保存
- 活動** 剪定・下草刈り・植樹・木道設置・動植物の調査、研修など
- 発足** 2007年(平成19年)
- 会員** 14人(年間活動15回・参加人数延べ107人)
- 予算** 東京都「緑の募金公募事業」交付金(15万円以内)
- 連絡先** 042-555-6658 吉澤



▲間伐材を利用して遊歩道も整備



▲環境フェスティバルで活動を展示、苗を配ってPR



保育園児も楽しそうに歩く▶

目に見える成果が楽しい

吉澤 毎月第2金・土曜日、午前9時から正午の作業。会員は14人。春は植樹、夏は下草刈り、秋は落ち葉の清掃など四季の変化を実感できます。

住吉 この会にプロはいなくて、見よう見まね。太さ20cmくらいの木なら切り倒せるようになりました。付近は縄文遺跡があり、土器のかげらを見つけることもある。

卯西 環境フェスティバルでは、崖線の保全を展示。育てたシロヤマブキの苗を配って活動をPRしました。野鳥にも興味を持っていた。

自然から学べるボランティア、若者参加に期待

大崎 課題は、市全体の緑の面積が宅地開発などで年々減少していること。稲荷緑地に「春秋の七草エリアがあれば女性の参加も増える」と市民提案型事業で応募しましたが「土の掘り返し、工作物は禁止」と採択されませんでした。もっと自由にできないものかな。杉本 年間15万円の東京都の交付

金で作業道具などを揃えるが、一点5万円以上の品には使えない。会員の減少と高齢化が課題です。

吉澤 一方で、市の担当課若手職員の作業参加、日野自動車さんからのボランティア参加もあり、うれしい。もっと地域住民の参加を期待しています。自然の中の適度な活動は健康にも役立ち、目に見える地域貢献としてやりがいを感じています。

小嶋 春の連休のころはシモツケ、ヤマブキ、ウツギなどが咲き乱れ、秋の紅葉も見事。駅までの近道なので、三角階段を歩く人に喜ばれ、近くの保育園児もキャッキヤと遊歩道を散歩しています。次世代に残したい自然ですね。

インタビューを終えて

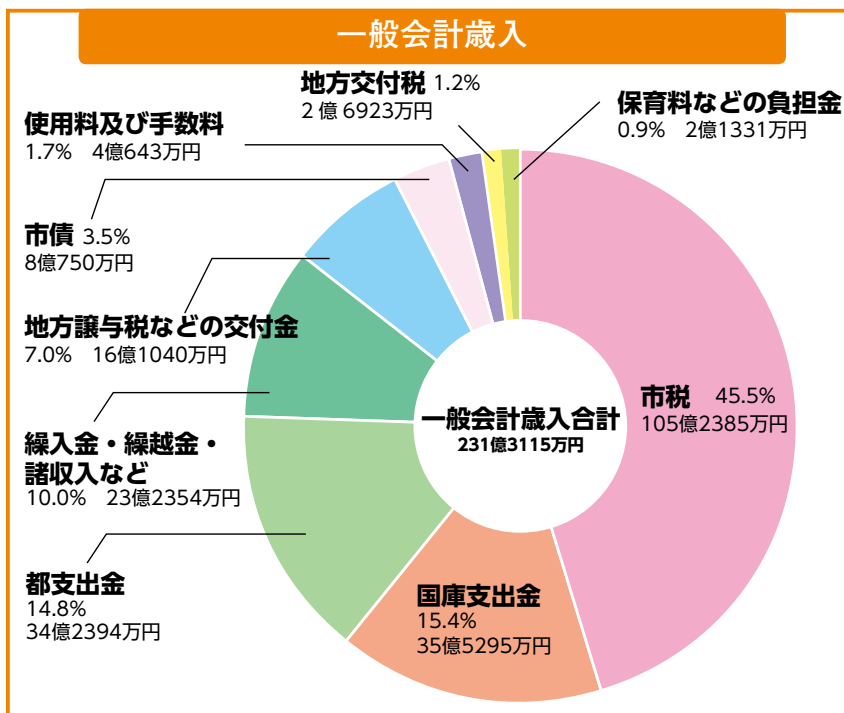
風が爽やかに吹き抜け、遊歩道も整備された稲荷緑地。以前は樹木・雑草が生い茂り昼でも薄暗く、ごみ捨て場にもなっていた。整備活動から12年。スタート時の仲間たちが次世代に引き継ぐべく、新たなボランティアに期待している。

お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

9月17日～19日の3日間にわたり、平成30年度一般会計等決算審査特別委員会を開催しました。（水野義裕委員長、濱中俊男副委員長）

市長から提出された前年度の一般会計、5つの特別会計、水道事業会計の決算の認定に係る議案について、予算の執行が適正かつ効果的・効率的に行われたかなどを審査しました。

その結果、すべての会計の決算を認定すべきと決定しました。最終日の本会議で審査結果を報告し、7つの会計すべてを原案のとおり認定しました。特別委員会での審査の概要をお知らせします。



■平成30年度一般会計歳入の概要
前年度比は1.2%の減

一般会計の歳入総額は、前年度に比べて2億9225万円（1.2%）の減額となりました。

主な財源である市税は、105億2385万円で、個人所得の増加や大手企業の好調な業績により、前年度と比べ2億7142万円の増額。歳入全体に占める市税の割合は45.5%で、前年度より1.7ポイント増加しました。

■平成30年度会計別決算状況

（単位：万円）

区 分		予算現額	歳入決算額 (実際の収入)	収入率 (予算現額 に対する歳 入の割合)	歳出決算額 (実際の支出)	執行率 (予算現額に対す る歳出の割合)	歳入歳出 差引額
一般会計		2,317,631	2,313,115	99.8%	2,264,173	97.7%	48,942
特別会計	国民健康保険事業	631,574	631,426	100.0%	615,697	97.5%	15,729
	後期高齢者医療	124,436	124,789	100.3%	121,966	98.0%	2,823
	介護保険事業	369,250	360,516	97.6%	352,817	95.5%	7,699
	羽村駅西口土地区画整理事業	125,581	121,526	96.8%	113,404	90.3%	8,122
	下水道事業	124,035	124,140	100.1%	120,463	97.1%	3,677
水道事業会計	収益的收入	113,343	112,730	99.5%			収益的収支 29,457
	収益的支出	85,173			83,273	97.8%	
	資本的收入	12,734	12,671	99.5%			資本的収支 △ 59,237
	資本的支出	72,639			71,908	99.0%	

※水道事業会計については、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金などで補てんしました。

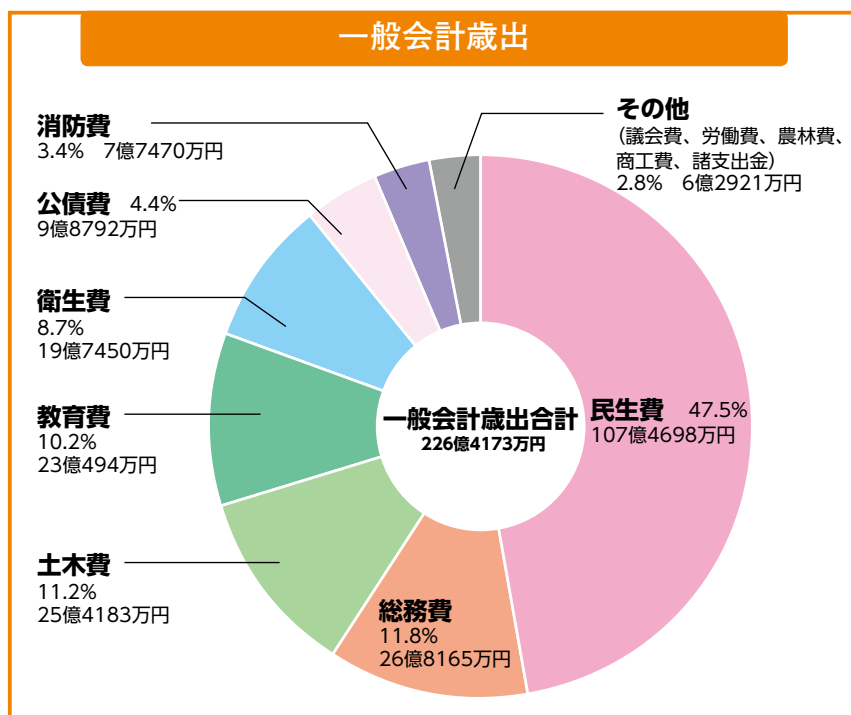
平成30年度決算を

依然として厳しい財政状況
行財政改革を着実に進め、安定的な財政運営を

認定

■平成30年度一般会計歳出の概要 前年度比は1.1%の減

一般会計の歳出総額は、衛生費や羽村第一中学校防音機能復旧工事費などの教育費が増加した一方、総務費や民生費、土木費などが減少したことにより、前年度に比べて2億4772万円（1.1%）の減額となりました。



■平成30年度の主な施策

【子ども・生涯学習関係】

- 保育従事職員宿舍借り上げ支援事業補助金交付事業の実施
- 中学校が「新たな3学期制」へ移行

【福祉・健康関係】

- 市内3か所全ての地域包括支援センターを委託化
- 「福祉作業所スマイル工房」の施設整備の支援

【市民生活】

- 被災者生活再建支援システムの導入

【産業振興】

- 企業誘致奨励金制度の充実
- 台風24号により被災した農業用施設等の再建を支援

【環境・都市整備関係】

- 動物公園のエントランス前にシンボル看板を設置

【道路整備】

- 羽村駅自由通路拡幅工事の完了、東口階段改修工事に着手

【行財政運営】

- 行政のスリム化に向けた全事務事業の点検・見直し

【公共施設整備】

- 富士見小学校のトイレ洋式化工事
- 羽村第一中学校防音機能復旧（機器取替）工事の実施

【東京2020大会】

- キルギス共和国男子柔道ナショナルチームの事前キャンプを受け入れ

【市史編さん】

- 「近世編」と「自然編」の刊行

【地方公会計】

- 連結財務書類や施設別の財務書類の作成

質疑

■一般会計歳入

Q 市民税法人分が平成29年度より2億9753万1600円増加した要因は。

A 市内の大手企業の業績が堅調に推移し、中小企業においても好調な業績であったため。

Q 平成30年度の経常収支比率は100・7%。今後の予想と目標数値は。

A 令和元年度の当初予算で算出すると104・0%。安定的に100%をきることを目指す。



新しくなった動物公園のエントランス



拡幅された羽村駅自由通路



LED化した街路灯

Q 土日開庁の収納額は、施策の開始当時より半減し、取り扱い件数も年々減少している。土日どちらか1日とすべきではないか。

A 土日に窓口が開庁していることによって、直接相談できることの大切さもある。事務事業の総点検・見直しの中で今後、土日の窓口のあり方を検討していく。

Q 市町村土木費補助金の約1億2750万円はどのような事業に充てるために獲得できた補助金か。

A 街路灯を新設する際の設置費、道路の補修工事や舗装の構造等をチェックするFWD調査委託、羽村駅自由通路の改修に伴う補助金である。

委員の意見(一般会計)

反対

区画整理事業の予算、期間、手法に無理がある

富士見小学校のトイレ改修やスマイル工房の施設整備など、評価できる施策もある。

しかし、羽村駅西口土地区画整理事業に6億5347万5千円が支出され、関係住民の合意もなく、事業の予算、期間、手法に無理があり、認定できない。行財政改革の視点から、土日開庁もどちらか1日に集約すべきである。

<市民ネットワーク>

賛成

安定的な財政運営の早期確保を望む

歳入は、好況な大手輸出企業の牽引で市民税が2億7千万円の増加となった。

歳出は、しらうめ保育園の施設整備、羽村第一中学校の防音機能復旧工事、認定農業者制度の推進、羽村駅自由通路の拡幅整備事業、動物公園のリニューアル工事等が行われ、市民福祉の向上が認められる。安定的な財政運営を早期に確保することを望み、賛成する。

<令和かがやき>

反対

今こそ、区画整理事業を見直すべき

学校と家庭の連携推進事業の拡充、福祉作業所スマイル工房の施設整備支援、街路灯のLED化など評価できる施策の前進がある一方で、多くの市民が反対する羽村駅西口区画整理事業への支出がされている。

財政の厳しい状況が続く中、今こそ羽村駅西口土地区画整理事業のあり方を根本から見直すべきである。

<日本共産党>

■一般会計歳出

いづも

Q 乳幼児全戸訪問は、訪問率が5%下がったが、訪問できなかった家庭へのアフターフォローはどのように図ったか。

A 健診時に確認し、健診に来ない場合は、さまざまな調査により状況把握している。

Q しらうめ保育園の園舎建替えで、市として力を入れたことは。

A 耐震等、安全・安心な環境を整備し、定員数を見直し、経費の削減に努めた。

福祉

Q 骨髄ドナー支援事業助成金の、ドナーと事業所への支給額は。

A ドナー提供者は1日2万円、事



建替えられたしらうめ保育園



リサイクル品が並ぶリサイクルセンター



福祉作業所スマイル工房

業所は1日1万円を、それぞれ7日を上限に助成している。

Q 自立支援相談事業の中で、ひきこもり問題へとつながったケースはあったか。

A 他の相談を受けている中でひきこもり問題への対応が必要になったケースが7〜8件あった。就労につながったケースもあった。

消費生活

Q 消費生活相談の件数が大幅に増えている理由は。

A 「特殊詐欺」の相談が昨年夏に多かったため。

Q リサイクル品販売事業について、日常的にもっとPRしてはどうか。

A 広報はむら9月1日号でPRした。今後もホームページや広報を通じてPRしていく。

賛成

財政の健全化に努め 市民福祉の向上を

市税収入が大手企業の好調な業績を背景に増加したものの、経常収支比率が3年連続で100%を超え、依然厳しい財政状況にある。その中で、第五次長期総合計画の後期基本計画に掲げた事業に積極的に取り組んでいる。

全事務事業の点検・見直しをはじめとした行財政改革の取組みを強力に実行し、財政の健全化に努め、市民福祉の向上に取り組んでいただきたい。

<新国会>

反対

区画整理事業を最重要 施策とする市政の矛盾

臨時財政対策債を除いた経常収支比率は105.5%で全国平均より高く、土地区画整理事業を最重要施策とする市政の矛盾である。

人口増加を掲げた創生計画の4年目でも人口が減少している。子育て雑誌へ4千万円かけて広告掲載したが効果は不明。事業に対するPDCAサイクルの徹底を求める。

<世論>

賛成

経常的収入の安定的 確保に取り組むべき

厳しい財政運営で、臨時財政対策債は5億5150万円と大きな額を発行して執行し、経常収支比率は、3年連続で100%を超えている。

行財政改革を着実に進め、経常的収入の安定的確保に取り組む必要がある。行政のスリム化を進める中で、無駄を省くのはもちろんであるが、代替案もしっかり示し、市民サービスへの影響は最小限に留めることを望む。

<公明党>

くらし

Q 電気料削減のため、街路灯をLED照明に切り替えを進めてきたが、平成30年度の効果額は。

A 平成29年度からの1年間で168万3千円の効果が出ている。

Q マイナンバーカードによるコンビニでの証明書等の交付件数と一通あたりの経費はいくらか。

A 交付件数は883件で、1通あたりの経費は9260円。

Q 東京2020大会を控え、道路案内標識の改善は30年度どう進んだか。

A 全箇所を調査し、必要な箇所を抽出した。道路の愛称名板は、シールを貼る変更作業を行った。

Q 羽村市自転車等に関する施策検討委員会ではどういったことを検討したのか。

A 3回実施し、自転車等駐車場の有料化に向けて諸課題などの検討をしている。なるべく早い有料化に向けて、令和元年度も検討していく。

シティプロモーション

Q 基本方針でシビックプライドの醸成を掲げていたが、強い意志を持って市の魅力を発信していただけの方を確保できたか。

A 市民記者やむら家族プロジェクトなどの事業を展開し、関わっていただけの方を増やすことで醸成していきたいと考えている。

Q シティプロモーションの地域ブランド調査の2018年度の羽村市の結果は。

A 認知度は、全国694位、都内50自治体中49位。魅力度は全国964位、都内50位。



変更した道路愛称名板

産業

Q ハローワークとの連携事業で、「出張ハローワーク」や合同就職面接会、セミナーの参加者で就業につながった人数は。

A 就業者を把握できる5つの事業で、合計4人が就業につながった。

教育

Q 図書館分室のそれぞれの経費は。

A 加美分室約198万円、富士見分室約219万円、川崎分室約230万円、小作台分室約398万円である。

Q 教職員のストレスチェックの受診率低下と結果の集団分析の活用をどう考えるか。

A 各学校から受診を促していく。集計結果の学校現場での活用を今後検討していく。

特別会計歳入・歳出

国民健康保険事業会計

Q ジェネリック医薬品利用率は72・1%だが、平成30年度の効果額と今後の見込みは。

A 効果額は約200万円。80%の達成を目指して啓発に努めていく。

委員の意見(国民健康保険事業)

反対

保険税の負担を可能な額にすべき

平成30年度当初予算の審査時に、すべての課税基礎が上げられ、所得に対して保険税が高額になっているため反対した。行政の重要な役割は、保険税を負担が可能な額にし、安心して医療を受けられるようにすることである。

保険税の値上げを行い、市民に一層の負担を増やしたため、本決算の認定には反対。

<日本共産党>

区画整理事業会計

Q 公有財産購入費6393万9千円が不用額となっているが、理由は。

A 羽村駅前周辺の用地を購入予定であったが、2月まで権利者と交渉したが、不調に終わったため不用額となった。

Q 川崎1丁目周辺の高低差はどれくらいで、宅盤高の調整はどのようにするのか。

A 旧青梅街道と新奥多摩街道との高低差は約3メートルある。権利者の意向に沿って宅盤造成し、隣接家屋は話し合って調整していく。



川崎一丁目周辺の区画道路工事

下水道事業会計

Q 污水管とマンホール蓋更新の進捗率は。

A 污水管の内面補修工事は、632か所、253メートルを実施し、約40%完了した。マンホール蓋はJR青梅線以西地区内について100か所交換し、約半分完了している。

※内容は要約しています。詳細は会議録でご覧いただけます。会議録は議会終了後2か月程度でできあがります。
インターネットで会議録をご覧になる場合は、
「羽村市議会」→「会議録の検索と閲覧」→
「平成30年度一般会計等決算審査特別委員会」

委員の意見(西口土地区画整理事業)

反対

西口土地区画整理事業は 即刻見直すべき

広い道路を造るため、1000戸を取り壊す西口土地区画整理事業は、必要性、実現性、住民合意のいずれもが欠けており、即刻見直すべきである。工事の騒音や震動、移転の負担から市外に移転する人も出ている。東京地方裁判所の違法・取り消し判決を受けた事業計画であり、本決算の認定に反対する。

<世論>

賛成

本格的なハード整備で 安全性が確保された

本格的なハード整備が始まり、一部の権利者の方は、換地先での新たな生活が始まっている。しらうめ保育園の新園舎が完成し、園児の送迎時の安全性が確保された。羽村駅西口駅周辺の駐輪場から駅舎までの歩道などは、非常に危険な状態のままであるため、工事中の箇所は一日も早く完成すべきと考え、本決算の認定に賛成する。

<新政会>

一般会計は6つの意見、国民健康保険事業会計は1つの意見、西口土地区画整理事業会計は2つの意見がありました。その他の会計については、賛成・反対の意見はなく全会一致で認定すべきと決定しました。

議

案審議

■9月定例会に市長から提出された議案は、決算認定7件、条例に関する議案9件、補正予算案7件、その他の議案4件、諮問3件、合わせて30件すべてを認定・可決・同意・答申しました。

■議員提出議案は、意見書案2件を可決しました。

■審査した請願1件・陳情2件は不採択となりました。

主な議案の概要は次のとおりです。



市長提出議案

■難病患者福祉手当の支給を行わない要件を設ける

羽村市難病患者福祉手当条例の一部を改正する条例

難病患者福祉手当の支給要件を見直すため、条例の一部を改正するものです。

【主な内容】 手当の支給を行わない要件を新たに設ける。

- (1)所得制限：前年の所得が規則で定める額を超えているとき
- (2)併給制限：心身障害者福祉手当の支給を受けているとき
- (3)施設入所者制限：規則に定める施設に入所しているとき
- (4)生活保護受給者等：規定による支援給付を受けているとき

【施行日】 令和2年4月1日

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 条例改正に至った経緯は。

A 制度を取り巻く環境の変化を踏まえ、支給要件を設定すべきとの福祉施策審議会からの答申を受

け、他の制度との整合性や公平性を検討し、条例改正に至った。

Q 受給対象者と支給額は。

A 令和元年8月支給の対象者は551人、昨年度の総支給額は4925万2500円である。

討論

反対 行政のスリム化計画の一環として手当を削ることは適切ではない。西口区画整理こそ見直すべき。難病の方の大変な生活実態を把握すべき。（日本共産党）

賛成 国の難病支援が大きく前進し、制度を取り巻く環境の変化や他制度との整合性等の観点から市独自の制度を検討したもの。改正案は妥当。（公明党）

反対 西口区画整理に膨大なお金が使われ、難病の方たちの手当が削減されることは到底賛成できない。対象者の暮らしにも大きな影響が出る。（市民ネットワーク）

賛成 改正案は、他の福祉サービス制度の整合性や公平性の観点から理解ができる。障害福祉サービス費も増加傾向であり、今回の改正は必要なことである。（新政会）

■富士見霊園以外の
墓地からの改葬を可能に

羽村市富士見霊園条例の一部を
改正する条例

遠方の郷里等にある墓地から富士見霊園の合葬式墓地（合葬室）への改葬を可能とすることで、市民サービスの向上及び市民の定住促進を図るため、条例の一部を改正するものです。

【主な内容】

富士見霊園の合葬室の埋蔵可能数が500体になるまでは、富士見霊園以外の墓地からの改葬を、公葬の時期にかかわらず通年で可能とする。

【施行日】 令和元年10月1日

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 改葬を受け入れる合葬室の空き状況は。

A 1334体の空きがある。

Q 施行日は10月1日だが、受入れはいつからか。

A 10月1日から受け付けし、許

可から6か月以内に改葬・納骨していただく。

請 願

■水上公園の流れるプールの
稼働継続に関する請願書

（要旨）

水上公園の流れるプールの稼働を継続してほしい。

【議決結果】 不採択

討 論

採 択

流れるプール継続への多くの市民の願いに応えて採択とすべき。
（日本共産党）

不 採 択

夏の稼働継続は安全性を考慮すると難しく願意をかなえることはできない。今後の施設活用を検討すべき。（令和かがやき）

不 採 択

安全性や費用対効果など、施設の活用方法を検討すべき。プールに用途を限定した本請願は不採択とすべき。
（公明党）

※内容は要約しています。
詳細はインターネット録画中継
（9月10日・27日分）で
ご覧いただけます。

議員提出議案

■意見書を可決しました

プラスチック類の拡大生産者
責任強化を求める意見書（要旨）

市は、従来からごみの分別・資源化に取り組んでいる。リサイクルの推進については、収集・選別・保管の費用負担は自治体に重くのしかかっているため、その処理費用に多くの税金を投入することになる。廃プラスチック類の適正処理は、原料や添加物の使用状況などを熟知している生産者こそが担うべきである。真の循環型社会形成のために、プラスチック類における拡大生産者責任を早急に強化するよう、強く要望する。

1 拡大生産者責任の原則に基づき、事業者責任の具体的仕組み・手法を明確にすること。

2 収集・選別・保管等に係る地方自治体の負担軽減を図ること。

【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣、環境大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、法務大臣、総務大臣

【議決結果】

原案可決

学校体育館へのエアコン設置補助
制度の拡充を求める意見書（要旨）

学校体育館へのエアコン設置を早急に進めるため、東京都は「東京都公立学校屋内体育施設空調設置支援事業実施要綱」を策定した。しかし、全校設置に踏み出す自治体がある一方で、財政状況によって全校設置にはとても踏み切れない自治体もある。

よって、羽村市議会は、国および東京都に対し以下の事項を要望する。

1 東京都の公立学校体育館へのエアコン設置補助制度の3分の2補助などについて、2019年6月末までの整備計画の策定・提出に限らず継続して実施すること。

2 東京都独自の補助制度を3年間に限らず実施すること。

3 電源設備や電気代などのランニングコストへの補助を行うこと。

4 リースでの整備も国の補助制度の対象とすること。また国に対し、東京都として要望すること。

【提出先】

内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、総務大臣、東京都知事

【議決結果】

原案可決

■市長提出議案の議決結果

＜全会一致となった議案＞

件名・概要	議決結果	件名・概要	議決結果
成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、関係条例の一部を改正する。	原案可決	令和元年度羽村市介護保険事業会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ7,806万2千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ38億968万5千円とする。	原案可決
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴い、会計年度任用職員制度の導入等に対応するため、関係条例の規定を整備する。		令和元年度羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ8,121万円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ10億1,320万2千円とする。	
羽村市税賦課徴収条例の一部を改正する条例 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、羽村市税賦課徴収条例の一部を改正する。		令和元年度羽村市下水道事業会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ3,677万4千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ13億1,592万円とする。	
羽村市富士見霊園条例の一部を改正する条例 P 11 参照		令和元年度羽村市水道事業会計補正予算（第2号） 【収益的収入及び支出】（支出）108万4千円を増額し、補正後の予算額を9億5,977万8千円とする。 【議会の議決を経なければ流用することのできない経費】（職員給与費）108万4千円を増額し、補正後の予算額を1億656万5千円とする。	
羽村市印鑑条例の一部を改正する条例 令和元年11月5日から住民票や個人番号カードに旧氏を併記することができるようになったことから、印鑑登録証明書においても、旧氏を併記することができるよう、条例の一部を改正する。		平成30年度羽村市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 地方公営企業法第32条第2項の規定に基づき、議会の議決により利益剰余金を処分する。	
羽村市給水条例の一部を改正する条例 水道法の一部を改正する法律及び水道法の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令の施行に伴い、条例の一部を改正する。		市道路線の認定及び廃止について 認定する路線：市道第1065号線 廃止する路線：市道第5016号線	
羽村市会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、会計年度任用職員制度を導入するため条例を制定する。		固定資産評価審査委員会委員の選任について 固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、岡田文尋氏を委員に選任したいので、議会の同意を求める。 【任期】令和元年10月15日～令和4年10月14日	原案同意
アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の賦課徴収の特例に関する条例 横田基地のアメリカ合衆国軍隊の構成員等が所有する軽自動車等の使用の本拠の位置が羽村市内となった場合、軽自動車税（種別割）の課税対象となりうることから、アメリカ合衆国軍隊の構成員等が私用で所有する軽自動車等に対する課税環境を整えておく必要がある。		教育委員会委員の任命について 教育委員会委員の任期満了に伴い、羽村章氏を委員に任命したいので、議会の同意を求める。 【任期】令和元年10月1日～令和5年9月30日	
令和元年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ1億5,729万1千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ60億3,897万5千円とする。	原案可決	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて 人権擁護委員の任期満了に伴い、塩田真紀子氏を委員の候補者として推薦したいので、議会の意見を求める。 【任期】令和2年1月1日～令和4年12月31日	異議ない旨答申
令和元年度羽村市後期高齢者医療会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ3,092万2千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ12億7,702万2千円とする。		人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて 人権擁護委員の任期満了に伴い、藤巻小百合氏を委員の候補者として推薦したいので、議会の意見を求める。 【任期】令和2年1月1日～令和4年12月31日	
		人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて 人権擁護委員の任期満了に伴い、鈴木将史氏を委員の候補者として推薦したいので、議会の意見を求める。 【任期】令和2年1月1日～令和4年12月31日	

凡例

■各会派の賛否 ■ 議案 / ○…賛成 ×…反対

■請願・陳情 / ○…採択 ×…不採択

■会 派 名 ■ 令…令和かがやき 公…公明党 新…新政会 共…日本共産党
 ネ…市民ネットワーク 世…世論 力…つながる力 風…新しい風

＜賛否の分かれた議案＞

件名・概要	会派名（数字は人数）								議決結果
	令	公	新	共	ネ	世	力	風	
	(4)	(4)	(4)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
羽村市難病患者福祉手当条例の一部を改正する条例 P 10 参照	○	○	○	×	×	×	○	○	原案可決
令和元年度羽村市一般会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ4億8,680万円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ228億8,740万円とする。	○	○	○	×	×	×	○	○	

■平成30年度決算認定の議決結果

件名	会派名（数字は人数）								本会議での 議決結果
	令	公	新	共	ネ	世	力	風	
	(4)	(4)	(4)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
一般会計歳入歳出決算	○	○	○	×	×	×	○	○	認定
特別会計 国民健康保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	
後期高齢者医療会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
介護保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計歳入歳出決算	○	○	○	×	×	×	○	○	
下水道事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	

■請願・陳情の審議結果

件名	審査した 委員会	会派名（数字は人数）								本会議での 議決結果
		令	公	新	共	ネ	世	力	風	
		(4)	(4)	(4)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
水上公園の流れるプールの稼働継続に関する請願書	経済	×	×	×	○	○	×	×	×	不採択
陳情「羽村駅西口区画整理事業の拘束を求める」	経済	×	×	×	×	×	×	×	×	
「羽村駅西口区画整理事業」を一時中断し、見直しの検討を求める陳情書	経済	×	×	×	○	○	○	×	×	

■議員提出議案の議決結果

件名	議決結果
プラスチック類の拡大生産者責任強化を求める意見書 P11 参照	原案可決
学校体育館へのエアコン設置補助制度の拡充を求める意見書 P11 参照	

会派名簿

令和かがやき

おおつか
大塚あかね
こうぞう
馳平 耕三
はまなか
濱中 俊男
みずの
水野 義裕

公明党

なかじま
中嶋 勝
とみなが
富永 訓正
にしきわ
西川美佐保
いし
石居 尚郎

新政会

あきやま
秋山 義徳
いんなん
印南 修太
とみまつ
富松 崇
はしもと
橋本 弘山

日本共産党

はまなか
浜中 順
すずき
鈴木 拓也

市民ネットワーク

ちんま
門間 淑子

世論

やまぎ
山崎 陽一

つながる力

たかだ
高田 和登

新しい風

かじ
梶 正明

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

一般質問

一般質問とは、市が実施している施策全般についての議員の質問です。

第4回定例会では、

9月3日、4日、6日の3日間にわたり

17人の議員が一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします。

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。



《Q》キルギス共和国との将来的な交流展望は

《A》都市間交流などを見据えた交流を図っていく

中嶋 勝 議員（公明党）



キルギス共和国との

交流について

質問 ホスタウンの利点は、

市長 羽村らしく、市民とともに手作りで作り上げる交流に一番の利点がある。

質問 友好姉妹都市も見据えた、市が描く将来的な交流展望は。

市長 都市間交流など国際交流を見据えつつ、さらなる交流を図っていく。

公共建築物維持管理業務の一括管理でコスト削減を

質問 公共建築物及び点検、修繕の件数は。

市長 132施設で平成30年度は54件の点検、407件の修繕を実施した。

質問 市は一定の集約管理

をしているが、さらなる一括管理や専門知識を持った業者への一括管理委託も効果的では。

市長 保守点検の集約化について検討し、包括施設管理委託の導入についても調査研究を進める。

質問 施設総量の縮減や管理運営の効率化の考えは。

市長 機能が類似する施設の集約化など整理統合を推進し、また、民間資本や活力の導入で持続可能な行政サービスを提供していく。



キルギス共和国の男子柔道ナショナルチーム

企業誘致に伴う移住・定住促進と活性化を

質問 ニプロ株式会社様の稼働に伴い、移住・定住への促進を。

市長 従業員の定住促進を目指すし、迅速な対応を図っていく。

質問 関連企業の転入は。

市長 約90社中、多くの企業が市内や近隣に進出希望があるので、情報提供に努めていく。



《Q》オスプレイ低周波音対策を強く国に要請を

《A》都・周辺自治体と連携し、強く働きかける

石居 尚郎 議員（公明党）



旋回するCV-22 オスプレイ

オスプレイ低周波音対策を

オスプレイは他の軍用機と異なり、独特の低周波音を発し、低空飛行する際には、激しい振動が伝わってくる。これまでにない音や振動を経験した市民から不安の声が上がっていることから質問をする。

質問 オスプレイの低周波音対策を国にさらに強く要請すべきではないか。

市長 オスプレイについては、低周波音による健康影響等を懸念する声があることから、国が実施している調査検討を踏まえ、国の責任において、必要な対策を講ずるよう要請している。今後も、東京都並びに基地

周辺市町と緊密に連携を図りながら、強く働きかけていく。

暑さ・熱中症対策の強化を

質問 行事開催のあり方や市や教育委員会として基準やルールを設け対応しているか。

市長 各部署に、観測情報等を提供し、環境省発行の「夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン」に基づき、各行事を所管する部署において、適切に判断している。

教育長 公益財団法人日本体育協会が作成した「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」に記載されている熱中症予防運動指針に基づき、環境省の示す暑さ指数の「危険レベル」である31℃以上、乾球温度で35℃以上の場合、運動は原則として中止することを基準として示している。

■その他の質問

「地域での介護人材確保について」



《Q》並木恒延氏を「羽村市名誉市民」にする検討を

《A》これまでの功績を参考に制度の創設を検討する

高田 和登 議員（つながる力）



芸術文化のあるまちづくりを

まちづくりを

質問 羽村在住の漆芸作家である並木恒延氏が日本芸術院賞を天皇陛下から授与された。市民への周知は。

市長 広報はむらで特集記事、テレビはむらにて特集番組を制作するために取材を続けている。

質問 並木恒延氏の個展と講演会を、市の主催で開催しては。

教育長 機会をとらえ作品展やギャラリートークの開催を検討する。

質問 市内に常設の並木恒延漆芸コーナーを設け、作品を適宜交換しながら、市民がいつでも漆芸を鑑賞で



日本芸術院賞を受賞した「月出ずる」

きる場所があると良いと考えるが。

教育長 今後、常設展示を行う場所の設置が可能かどうかについて研究していく。

質問 並木恒延氏を「羽村市名誉市民」にする制度の創設を検討してはどうか。

市長 これまでの功績を参考に制度の創設について、今後、検討する。

備蓄品の充実を

質問 「羽村市地域防災計画」には福祉避難所の備蓄についての記載がないが。

市長 令和2年度の改訂時に記載するよう検討する。

質問 厚生労働省の省令改正で、国内での液体ミルクが解禁された。羽村市でも備蓄を検討しては。

市長 今後、ローリングストック方式や乳児用液体ミルクと粉ミルクの併用備蓄などについても研究し、有効性を判断した上で導入について検討する。



《Q》近隣市町村でも予防接種が受けられる体制を

《A》近隣市町村や各医師会とも調整を図っていく

西川 美佐保 議員（公明党）



予防接種について

質問 近隣市でも予防接種が受けられるよう利便性を図っては。

市長 近隣市町村や各医師会とも調整を図る。

質問 これまで提案の予防接種のアプリ、電子母子手帳の活用を進めるべきでは。
市長 導入について研究を進めており、複数の電子母子手帳を比較検討していく。

農業、商工業、観光

などの連携について

質問 農産物直売所の午後の空いているスペースを商業者に貸し出し、共存共栄の道を図っては。

市長 現在のところ、考えていない。



新鮮な野菜が並ぶ農産物直売所

質問 過去に農工商観の連携によるまちの活性化について質問してきたが、どう進んだか。

市長 平成25年・29年の定例会の質問の「東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン登録申請」に関しては、キルギス共和国のホストタウンの登録が認められ文化交流に取り組んでいる。「農産物直売所の充実のため加工品の販売」に関しては、ジェラートの販売を7月から開始し、大変好評である。「市内中小企業に対する『特許又は実用新案』出願料の補助」については、平成27年度に経費の一部を補助している。

業務効率化と市民サービス向上について

質問 市役所業務に※RPAの導入を考えては。

市長 引き続き、調査・研究を進めていく。

RPA：ロボティック・プロセス・オートメーション、ロボットによる業務自動化の取り組み



《Q》困窮された方にどこまでも寄り添う取り組みを

《A》より良い相談体制を築けるよう努めていく

富永 訓正 議員（公明党）



孤立を防ぐ「断らない相談」体制の確立を

様々な悩みを抱え困窮する方を支えるには、行政の縦割りを超えた支援で、どこまでも寄り添う姿勢が重要である。

質問 一人の担当職員がエリアディレクターやコンシエルジュとなり、相談者とともに部局横断的に動くなど、相談者第一の対応を。

市長 本人を中心として寄り添う、いわゆる「伴走型」の支援を行っている。相談者に寄り添い、相談者第一の対応に努めていく。

質問 地域団体等と連携し、先進的に取り組む自治体がある。困窮された方にどこ



市役所の相談窓口

までも寄り添う取り組みを行っている。

市長 他市の動向について研究し、より良い相談体制を築けるよう努めていく。

国政・地方選挙の

あり方について

市内の投票率の向上への取り組みや投票しやすい環境づくりが従来以上に必要。
質問 投票所入場整理券の郵送方法を1世帯で封入した場合の費用対効果等の検討・検証を行った例は。

選挙事務局長 平成29年に実施。郵便料は減少するが、経費、事務が増大。

質問 期日前投票所の増設など、有権者の利用しやすい環境整備が必要では。

選挙事務局長 セキュリティの確保や従事者の配置などが課題。市の面積や公共交通の状況などから、現段階では必要性はないと捉えている。

その他の質問

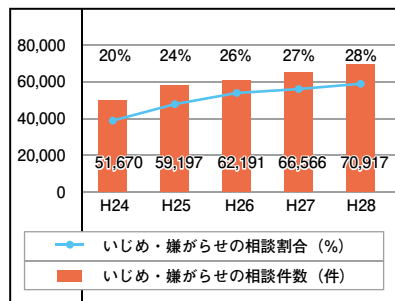
「自動車の急発進防止装置（急加速抑制装置）の普及に向けて」



《Q》ダブルケア支援の強化を！

《A》支援の提供体制充実に努める

大塚 あかね 議員（令和かがやき）



パワハラ相談件数（厚生労働省 HP より）

市長 子育て相談は子育て世代包括支援センター、高

育と介護を同時に相談できる体制を構築しては。質問 ダブルケアに直面する市民が増加している。子

市の訪問活動の中で情報提供に努めていく。

市長 職員や企業活動支援員の訪問活動の中で情報提供に努めていく。

質問 ハラスメント規制法が公布され、企業にはハラスメント対策が義務付けられた。市内事業者への周知はどのように図られるのか。

市長 職員や企業活動支援員の訪問活動の中で情報提供に努めていく。

誰もが働きやすく、生きやすいまちをめざそう

働きやすい職場、誰もが生きやすい社会にしてい

ための、様々な課題解決について、市の考えを伺う。

質問 ハラスメント規制法

が公布され、企業にはハラスメント対策が義務付けら

れた。市内事業者への周知

はどのように図られるのか。

市長 職員や企業活動支援

員の訪問活動の中で情報提

供に努めていく。

質問 ダブルケアに直面す

る市民が増加している。子

育と介護を同時に相談で

きる体制を構築しては。

市長 子育て相談は子育て

世代包括支援センター、高

齢者に関する相談は地域包

括支援センターが担当して

いる。関係部署の連携を強

化し、必要な支援を的確に

提供する体制充実に努める。

質問 渋谷区、世田谷区、

府中市など同性パートナー

シップを認めていく動きが

進んでいる。市の考えは。

市長 多様性が認められる

社会の推進について、意識

啓発に努める中で研究すべ

き課題と捉えている。

健康長寿に繋がる高齢期

からの食生活をひるめよう

質問 高齢期にはメタボ対

策よりフレイル対策が重要

と言われている。高齢者に

筋肉を保つ「貯筋」、「整

腸」を大事にする食生活の

知識の啓発を行っている。

市長 フレイルや低栄養を

予防する食生活について

様々な観点から啓発を充実

していく。

健康長寿に繋がる高齢期

からの食生活をひるめよう

質問 高齢期にはメタボ対

策よりフレイル対策が重要

と言われている。高齢者に

筋肉を保つ「貯筋」、「整

腸」を大事にする食生活の

知識の啓発を行っている。

市長 フレイルや低栄養を

《Q》親水公園をキルギス共和国友好公園にしては

《A》施設を拠点に周辺利用について検討する

印南 修太 議員（新政会）



親水公園

質問 親水公園をキルギス

共和国友好公園にしては

《A》施設を拠点に周辺利用について検討する

市長 水上公園のプールは、施設全体で老朽化が進み、抜本的な再整備の時期を迎えている。そのため一時休止の期間を設け、現在の流れるプールに代わる、年間を通じて市民の皆様が利用できるプールを管理コストの少ない施設や周辺利用について現在検討を進めている。この間は、スイミングセンターをご利用いただくとともに、学校プールの一般開放について研究していく。

水辺の資源活用について

質問 来年度から水上公園

の代わりに、羽村第一中学

校のプールを子どもたちに

開放できないか。

共和国友好公園にリニュー

アルしては。

市長 施設を拠点にした施

設利用や周辺利用について

検討する。

行財政改革について

質問 歳入におけるふるさ

と納税への対策は。

市長 市のふるさと納税の

実績は、平成30年度、受け

入れ金額347万2千円に

対し、市外の自治体へふる

さと納税を行ったことによ

る市税の控除額は4512

万4千円であり、差し引き

4165万2千円の税収減

である。また、平成28年度

からは大幅な税収減の傾向

が続いている。そこで、6

月から国が実施している新

制度に沿って、市の魅力を

市外に広く発信しながら羽

村市へふるさと納税をして

いただけるよう取り組んで

いく。

健康長寿に繋がる高齢期

からの食生活をひるめよう

質問 高齢期にはメタボ対

策よりフレイル対策が重要

と言われている。高齢者に

筋肉を保つ「貯筋」、「整

腸」を大事にする食生活の

知識の啓発を行っている。

《Q》消防団分団車庫の耐震診断が先送りされた理由は

《A》簡易診断の結果、安全性や緊急性の有無を確認した

富松 崇 議員（新政法）



公共建築物の
維持保全について

質問 公共建築物の維持保全を実施していく中での課題は何か。

市長 特に「老朽化の進行」「改修費用と財政負担」については、大きな課題であると捉えている。

質問 第五分団・第六分団車庫の耐震診断が先送りされた理由は。

市長 職員による簡易診断の実施結果などにより、安全性や緊急性の有無も確認した上で、財政状況を考慮し、計画をローリングしている。災害時は特に重要な施設であることから、可能な限り早い時期に耐震診断を行う。

安心・安全・快適な
歩道の整備について

質問 歩道上にある電柱や交通安全施設の設置基準はあるのか。

市長 交通安全施設の設置については、原則として歩車道境界と支柱及び標示板



歩道上にある交通安全施設

との間を25センチメートル以上離すとされている。電柱、消火栓などは、歩道内の車道寄りとし、1メートル以上の余地を確保すれば足りるとされている。

質問 幅1メートル前後の歩道に電柱や交通安全標識があり、傘やベビーカーなどを利用していると車道に降りなければならぬ歩道がある。市は改善に向けた取り組みをどのように行っているのか。

市長 土地区画整理事業に伴う道路施設整備や、狭あい道路の道路拡幅など、歩道の整備改善に鋭意取り組んでいる。



《Q》町内会等と避難時の情報共有をしているか

《A》情報共有を行い防災力の強化を図っている

秋山 義徳 議員（新政法）



災害に強いまちづくり

質問 災害時、要配慮者の避難支援対策は。

市長 避難支援者等関係者による安否確認や避難支援が行われる体制を整えている。

質問 災害時の避難について、町内会、高齢者・障がい者施設と連携・情報共有は行っているのか。

市長 町内会を中心とした自主防災組織とは、様々な連携・情報共有を行い防災力の強化を行っている。高齢者施設では、市の防災担当者との情報交換を通じ、浸水時避難計画の作成が行われた。

人が集う
魅力あるまちづくり

質問 「空き店舗活用支援策」や「起業・創業支援体制の構築」について、これまでに何件問い合わせがあり、実際創業した例は。

市長 平成27年度に産業福祉センター内に「創業支援スペースiサロン」を開設してから現在までの相談件数は、608件で、創業件数は24件である。

質問 「羽村ブランド品」の開発の現状は。

市長 北杜市との産業交流事業「羽・杜（ハート）プロジェクト」において、特産品の開発に取り組んでいる。羽村市のチューリップを原料とした石鹸を、北杜市のひまわりが原料の紙パッケージを使用して製作することを検討している。



自主防災組織（町内会）による訓練の様子



《Q》水害、市が発令する警戒レベルの判断基準は

《A》多摩川調布橋観測所の水位が判断基準

梶 正明 議員（新しい風）



令和元年の台風 15 号後の羽村堰付近

水害・土砂災害対策について
水害対策について

質問 家屋倒壊等氾濫想定区域における避難情報発令の判断基準は。

市長 多摩川調布橋観測所の水位を判断基準としている。そのほか、東京都が発表する防災気象情報などを総合的に判断し、避難情報の発令を決定している。

質問 避難勧告・避難指示が発令された場合は、全員避難となっている。市は全員避難したかを確認する場合は、どのような方法か。

市長 災害発生時の避難者確認は、各避難所で人員確認の集計により把握。市が発令する避難勧告・避難指

示には法的拘束力はなく、最終判断は、個人の考えに委ねる。逃げ遅れによる人的被害の発生を防ぐため「自らの命は自らが守る」という防災意識の高揚を呼びかけていく。

土砂災害対策について
質問 土砂災害特別警戒区域や警戒区域の土地は、個人所有地が多いと思うが、安全対策について、市はどのように考えているか。

市長 指定区域や避難所の位置など防災情報を市民に周知し、防災マップはむらを作成・配布し、必要な情報の周知を図っている。安全対策は、その土地の所有者の責任において実施されるべきものであるが、近隣住民、所有地外への危険が認められる場合は、所有者への改善を促していく。

■その他の質問
「震災対策について」



《Q》区画整理課、公社職員立ち入り禁ず、への対応は

《A》事前に通知や電話連絡をし、訪問する

山崎 陽一 議員（世論）



区画整理撤回要求第50弾

質問 15年延長。事業費増加額と完了時の市債残高は。

市長 総事業費370億円を436億円に。市債残高は一般会計84億円、区画整理事業会計54億円で合計約138億円の見込み。

質問 市は、区画整理は賛成・反対で決めるものではない。一方で権利者の合意が前提という。合意とは何か。

市長 既成市街地再編整備は賛・否ではない。合意とは協議移転前提の補償契約書の取り交わしである。

質問 計画上、合意を得られない時のリスクは考えない、の答弁の意味は。

市長 計画に不確定要素は反映できず、予定通り進ま

なければ工程を見直す。

質問 地区内に「区画整理課、公社職員の立ち入りを禁ず」の看板。対応は。

市長 事業反対の表明であり「立ち入りを禁ず」には、事前に調査依頼の通知や電話をして訪問する。

質問 補償説明を受けるか、移転の承諾、拒否の決定権は誰にあるか。

市長 権利者それぞれの意思によると捉えている。

質問 仮換地指定拒否への対応と、地権者の権利はどうか。

市長 指定延期などで対応。不服なら「行政不服審査法」などで提訴できる。

質問 直接移転も可能という。権利者のメリットと、

これまでの直接移転数は。
市長 引越しが一度で済み負担軽減になる。現在まで直接移転は2棟である。

■その他の質問
「行政文書に西暦併記を」

移転交渉拒否の看板



《Q》安倍内閣が進める圏域構想を市長はどう考えるか

《A》国は枠組みを定め強制すべきではない

馳平 耕三 議員（令和かがやき）



「圏域」構想について

質問 安倍内閣が進める圏域構想を市長はどう考えるか。

市長 広域連携に取り組むか否かは自治体が地域の実情を踏まえ主体的に判断すべきであり、国が枠組みを定め、強制すべきではないと考えている。

市の財政が厳しい原因を分析し今後に生かすべき

質問 羽村駅西口土地区画整理事業がハード事業に着手した頃から、市の財政は厳しくなったと考えるが、規模等を見直す考えはないか。

市長 第3回変更の事業計画に基づき効率的な事業運営に努め着実な進展を図っていく。



7月に行われた少年少女球技大会

質問 財政基盤の強化に向けて目標をどう定め何をなすべきと考えているか。

市長 平成28年度、29年度は基金の取り崩し額が増え、基金残高が大幅に減少している。当該年度の歳入で、当該年度の歳出を賄える財政構造を目指している。そのため、行政のスリム化に向けた事務事業の見直しに取組み、歳出削減を図るとともに、歳入の確保に取り組んでいく。

羽村市少年少女球技大会の中止をどう考えるか

質問 雨天で中止になった1日分の試合を行えないか。

市長 日程調整、会場確保のほか多くの関係者の協力が必要となることから、改めて決勝トーナメントを実施することは難しいと考えている。

■その他の質問
「学期制変更の総括は進んだか」



《Q》プール再開に向け、早急に対応すべきでは

《A》プールに代わる、市民が年間利用できる施設へ検討

浜中 順 議員（日本共産党）



流れるプールの再開に向けて

質問 流れるプール再開に向け、市民の意見を尊重し、早急に対応すべきと考えるが、対策はどう進んでいるか。

市長 現在の流れるプールに代わる、年間を通して市民が利用でき、かつ維持管理コストの少ない施設や周辺利用の検討を進めている。

高齢者へ補聴器の助成を

質問 早期の補聴器使用の重要性についての認識は。

市長 早期に補聴器などを使用し、「聞こえ」を維持することが望ましいと認識している。

質問 検査や装着のための調整、補聴器の購入について



休止となった流れるプール

て、市独自の補助や都の制度を活用した補助をすべきでは。

市長 高齢者への補聴器助成事業を行っている自治体は、区部で8区と把握している。補助事業の実施について、他市町村における対応等も参考に研究に努めていく。

高すぎる国民健康保険税を引き下げよう

質問 国民健康保険税の高い負担を早く改善するため、また、子育て支援の観点から、あきる野市のように独自に18歳未満の子どもの均等割を軽減すべきでは。

市長 多子世帯に対する負担軽減を図るため、多摩地域5市で軽減制度を実施していることは把握している。国レベルで取り組むべきものであるので、国に対し、引き続き要望していく。



《Q》西口「新事業計画」は余裕がなく、無理では

《A》権利者との合意など、不確定要素は反映させない

鈴木 拓也 議員（日本共産党）



羽村駅西口区画整理

「新事業計画」を問う2

質問 長期間の「仮住まい」を住民に強いる「中断移転」の棟数が、556棟から772棟に増えている。なぜか。

市長 各年度の※「集団移転」の範囲を拡大し、合理的な事業推進を図ったからである。
質問 6月議会で「反対者により計画どおり工事が進まないというリスクは判断していない」旨の答弁があった。こうした余裕のない計画では、予定どおりに事業を完了させるのは、無理ではないか。



羽村駅西口

し、令和18年度までの事業期間を定めた。一人ひとりの権利者との合意がはかれるか否かなど、不確定要素を反映させる性質のものではない。

ひきこもり支援を

本格的にすすめるよう

質問 国の調査結果を羽村市に当てはめてみると、ひきこもりの人が500人いる、という計算になる。これまでこういった取り組みを進めてきたか。

市長 民生・児童委員向けの研修会、電話・メール相談や家庭訪問による対応を行う「東京都ひきこもりサポートネット」の周知や、「生活困窮者の自立支援」において相談に応じてきた。

質問 相談窓口の設置など、対策を本格化させるべきではないか。

市長 現在の対応を継続する。

集団移転：ある一定のエリアの住宅を一斉に取り壊し、移転先を整備後に再築する移転方法。



《Q》全校のトイレ洋式化が完了するのはいつか

《A》最終の羽村三中の工事完了予定は令和9年度

門間 淑子 議員（市民ネットワーク）



学校の

トイレ洋式化を急ごう

学校トイレの洋式化は、教育環境改善や災害対策のためにも急ぐべき。現状を問う。

質問 当初計画より遅れている、理由は何か。

教育長 財政状況、他施設の改修状況、補助金の動向などをふまえ、優先順位を考慮しながら、毎年、見直しをしているため、実施時期が変更となっている。

質問 現在の洋式化率と全校が完了するのはいつか。
教育長 平成31年3月末で、小学校48・8%、中学校44・5%である。最終の羽村第三中学校の工事完了予



洋式化された小学校のトイレ

定は令和9年度。

入札・契約事務の

改善と情報公開を問う

契約は一般競争入札が原則だが、現状を問う。

質問 一般競争入札が極めて少ないが何故か。

市長 市内事業者の受注機会の確保を図るため、分離発注をしているが、予定価格が基準額未満になることがあるため。

質問 平成30年度の※特命随意契約の件数と総額は。

市長 319件、1億8491万299円である。

質問 最高額と契約内容は。

市長 1億2242万160円で、廃棄物処理業務委託である。

質問 件数、総額を事務報告書に掲載すべきでは。

市長 市全体の特命随意契約の件数等は掲載していないが、契約担当が取り扱った案件は掲載している。

特命随意契約：競争入札を原則とする地方公共団体の契約方法の例外であり、地方自治法施行令で認められた場合のみ実施できる契約方法



《Q》様々なイベントの統廃合について検討したか

《A》健康の日と健康フェアは統合する。今後も検討する

水野 義裕 議員（令和かがやき）



その後の

行財政改革等について

質問 行財政改革の実施計画には、全体に具体的な目標とする数字や時期等が示されていないが。

市長 行財政改革の取組みでは、目標数値を掲げることで、具体的な取組みも多くある。そのため、実施計画には具体的な取組内容や実施行程を示すこととし、年度ごとに、実績等を取りまとめる際には、具体的な数値等により効果額や成果を分かりやすく示すよう努めている。

質問 市の様々なイベントの統廃合について検討したか。

市長 「はむら健康の日」



実行委員会形式で行われた
はむら花と水のまつり(野点の様子)

と「健康フェア」を統合することにした。引き続き、イベントについて統廃合も含めて効率化と充実を図る。

質問 「花と水のまつり」は、実行委員会形式になったが、変更した目的は達成できたか。

市長 実行委員会の各部署の皆様の創意工夫により、「羽衣の堰歌謡ショー」や、踊子草公園に設置した特設ステージでのバラエティに富んだ「ステージショー」、羽村市茶道連盟の協力による「野点」など、新たな形で催し物を実施した。実行委員会の皆様を中心に、こうした特色ある各イベントの企画・運営を行うことができたことなどにより、実行委員会形式に変更した目的を達成できたものと捉えている。

■その他の質問

「羽村駅西口土地区画整理事業計画の説明は分かりやすく」「学校における働き方改革について その2」



《Q》児童生徒のオリンピック・パラリンピック観戦は

《A》羽村市内全児童生徒に観戦機会がある

濱中 俊男 議員（令和かがやき）



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会と

ホストタウンについて

質問 今までの準備状況はどうか。

市長 取組基本方針に基づき、各種イベントにおけるポッチャをはじめとしたパラリンピック競技体験などを中心とした事業、市民体育祭へのオリンピック・パラリンピアン招致、広報はむらへの競技紹介記事の掲載などを実施してきた。

質問 これからの計画は。

市長 大会気運醸成と市民意識高揚を図る。さらに、キルギス共和国男子柔道ナショナルチーム事前キャンプのサポートを行い、柔道



8月に行われた友好親善コンサート

競技当日の応援ツアーも計画したいと考えている。

質問 ホストタウンについてはどのように進めるのか。

市長 令和2年以降は、これまでの交流実績を踏まえ、都市間交流などの国際交流を見据えつつ交流を図る。

質問 児童生徒の観戦については。

教育長 東京都教育委員会とは、都内の全公立学校等に観戦機会を提供することとしており、羽村市には、小中学校毎の日時や会場、競技種目について暫定の通知があった。令和2年7月にチケットが届く予定である。

質問 有形無形のレガシーについてはどうか。

市長 「スポーツの推進」「人材育成」「国際化への対応」を柱として、羽村市独自の次世代に誇れるレガシー創出に取り組む。



議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

令和元年8月1日～10月31日の主な活動

8月

- 2日 東京都市議会議長会理事会・定例総会
- 6日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
- 6日 行政視察受入れ(山口県岩国市議会)
- 26日 羽村市議会タウンミーティング第1回実行委員会
令和元年第7回議会運営委員会

9月

- 3日 令和元年第4回羽村市議会(定例会)初日
- 4日 令和元年第4回羽村市議会(定例会)2日目
- 5日 羽村市議会タウンミーティング第2回実行委員会
- 6日 令和元年第4回羽村市議会(定例会)3日目
- 9日 一般会計等予算審査特別委員会(補正予算)
- 10日 令和元年第4回羽村市議会(定例会)4日目
令和元年第7回広報委員会
- 11日 令和元年第4回経済委員会
令和元年第4回総務委員会
- 12日 令和元年第6回厚生委員会
- 17日～19日 平成30年度一般会計等決算審査特別委員会
- 24日 令和元年第8回議会運営委員会
令和元年第3回羽村市多摩都市モノレール建設促進及び公共交通対策特別委員会
- 25日 令和元年第8回広報委員会
- 26日 羽村市議会タウンミーティング第3回実行委員会
- 27日 令和元年第4回羽村市議会(定例会)最終日
令和元年第3回羽村市基地対策特別委員会
- 30日 総務委員会行政視察(岐阜県山県市)

10月

- 1日～2日 総務委員会行政視察(愛知県豊田市・新城市)
- 3日 行政視察受入れ(茨城県水戸市議会)
- 7日 経済委員会行政視察(日野自動車株式会社)
西多摩地区議長会議員研修会(奥多摩町)
西多摩地区議長会定例会議
- 10日 行政視察受入れ(北海道北広島市議会)
- 11日 令和元年第9回広報委員会
羽村私立保育園協議会と厚生委員会委員との懇談会
- 15日 第30回東京都道路整備事業推進大会
- 17日 関東市議会議長会第1回理事会
- 17日～18日 厚生委員会行政視察(愛知県大府市・東海市)
- 24日 羽村市議会タウンミーティング第4回実行委員会
羽村市議会議員と北杜市議会議員との交流会
- 25日 行政視察受入れ(三重県四日市市議会)
令和元年第1回青梅、羽村地区工業用水道企業団議会議員研修及び施設見学
- 28日 羽村市多摩都市モノレール建設促進及び公共交通対策特別委員会視察(瑞穂町)
令和元年度第28回首都圏中央連絡自動車道建設促進会議総会
- 29日 2019年第2回東京たま循環組合議会(定例会)
- 30日～31日 第14回全国市議会議長会研究フォーラム

市議会からのお知らせ

■ぎかいのトビラに関するアンケートを実施します

皆さまのご意見を参考に、より良い議会だよりにするため、アンケート調査を行います。期間中、各議員によるアンケートの配布と公共施設にアンケートを設置します。ご協力をお願いします。

【実施期間】

11月1日～30日

■羽村市議会タウンミーティング「みんなで考えよう!はむらの魅力」を行います

【日時】

令和2年2月1日(土)
午後2時～4時

【会場】

ゆとりぎ講座室1

【対象】

市内在住・在勤の方

【定員】

50人

【内容】

議会からの報告／グループワーク

※お子さま連れでの参加も可能です。

【主催】

羽村市議会

【問合せ】

議会事務局(内線412)

しぎかいカレンダー

●12月定例会の予定●

日	月	火	水	木	金	土
				11/21 陳情メ	22	23
24	25 議運	26	27	28	29	30
12/1	2	3 本会議	4 本会議	5 本会議	6 本会議	7
8	9	10 予特 (補正)	11 常任委	12 常任委	13	14
15	16	17	18	19 本会議	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 陳情メ…請願・陳情の12月定例会審議予定分の締切
- 議 運…議会運営委員会
- 常任委…常任委員会（総務、経済、厚生）
- 予特（補正）…一般会計等予算審査特別委員会

※会議の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問合せください。

議会を見よう！知ろう！

～次の定例会は12月～

本会議でどんなことがどのように話し合われているのか、様々な手段で知ることができます。皆さんの暮らしに直結していることばかりです。ぜひご覧ください。

- 1 議場で傍聴 ライブで！**
当日、直接議場へおいでください。
- 2 ケーブルテレビで生中継**
TCN 多摩ケーブルネットワークで、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください。
- 3 インターネットで録画中継**
開催日の3日後から、インターネットで録画中継を見ることができます。
- 4 会議録で読む**
議会終了後2か月程度で会議録ができあがります。冊子または、羽村市公式ウェブサイトから見るることができます。

羽村市公式サイト

<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽 村 市 議 会

検 索



編集後記

この秋には、超大型台風の襲来により、全国的に大きな被害が生じました。羽村市内でも、避難を余儀なくされた市民の方々も多くいらっしゃいました。皆さま、ご健勝でお過ごしですか。

さて、議会だより127号が出来上がりました。この広報紙は、9月定例会で審議した平成30年度決算の内容を公表し、市民生活に直結する様々な施策や事業についてお伝えすると同時に、議会の説明責任を果たすという2つの大切な使命を担っています。今後も議員各々の立場や主張を明確に伝える為に「わかりやすい」「読みやすい」「親しみやすい」議会だよりの編集に努めて参ります。

(印 南)

【広報委員会委員】

中嶋 勝(委員長)
印 南 修太(副委員長)
秋 山 義徳 梶 正明
浜 中 順 富永 訓正
大塚 あかね 濱 中 俊男

発行／羽村市議会 編集／広報委員会

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042 (555) 0889
Tel 042 (555) 1111 (内線412～414、416)



「ぎかいのトビラ」は、再生紙を使用しています。